

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1	6	表	2024年アドミッションポリシー ※1	2023年アドミッションポリシー ※2

(誤 ※1)

アドミッション・ポリシー	
<p>本学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>1) 医薬品や病態・薬物治療の基本となる基礎学力(化学・生物・数学・英語・国語)を有し、将来薬剤師有資格者として、医療の発展に貢献したい、あるいは、健康・福祉その他の分野で社会貢献したいという強い意欲がある。</p> <p>2) 医療や健康・福祉などに携わる者としての使命感と倫理観を有し、思いやりと協調性、コミュニケーション能力を身につけようとする姿勢がある。</p> <p>3) 科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけることの重要性を理解できる。</p> <p>4) 自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。</p>	

(正 ※2)

アドミッション・ポリシー	
<p>本学科は、「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>1) 幅広い教養と医薬品や病態・薬物治療の基本となる基礎学力(化学・生物・数学・英語)を有し、将来薬の専門家として、医療の発展に貢献したいという強い意欲がある。</p> <p>2) 患者・生活者心理の理解の基本となる基礎学力と、医療や健康・福祉などに携わる者としての使命感と倫理観を有している。</p> <p>3) 科学的な思考力と問題提起・解決能力を身につけることの重要性を理解できる。</p> <p>4) 医療人としての思いやりと協調性、コミュニケーション能力を育て、薬剤師有資格者として健康・福祉その他の分野で社会貢献したいという強い意欲がある。</p> <p>5) 自ら学ぼうとする強い意欲、地道に努力する勤勉さがある。</p>	

■基礎資料

	資料番号	頁	箇所	誤	正
1	基礎資料8	59	卒業研究を実施する研究室の面積 (m ²)		データを追加

(基礎資料 8) 卒業研究の学生配属状況および研究室の広さ

4年生の在籍学生数	146名
5年生の在籍学生数	163名
6年生の在籍学生数	207名

	配属講座など	指導教員数	4年生 配属学生数	5年生 配属学生数	6年生 配属学生数	合計	卒業研究を実施する 研究室の面積 (m ²)
1	薬品分析学	4	12	12	0	24	81.0
2	薬化学 I	4	15	7	1	23	81.0
3	生薬学	2	7	8	0	15	56.0
4	薬剤学	4	12	17	0	29	81.0
5	臨床薬学	4	7	14	0	21	56.0
6	臨床製剤学	1	5	5	0	10	54.0
7	東洋医薬学	2	0	5	0	5	25.0
8	臨床薬学教育センター	7	12	21	0	33	214.0
9	薬理学 I	3	10	16	0	26	81.0
10	薬理学 II	2	6	8	0	14	81.0
11	衛生化学	2	6	16	0	22	81.0
12	生化学 II	4	7	9	6	22	51.0
13	病態生理学	2	13	12	0	25	81.0
14	免疫生物学	1	6	3	5	14	29.0
15	薬学教育推進センター	5	15	6	0	21	152.0
16	生命物理化学	2	7	4	0	11	125.0
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
	合計	49	140	163	12	315	

- [注] 1 卒業研究を実施している学年にあわせ、欄を増減して作成してください。
 2 指導教員数には担当する教員（助手を含む）の数を記入してください。
 3 講座制をとっていない大学は、配属講座名を適宜変更して作成してください。
 4 隣接する複数の講座などで共有して使用する実験室などは、基礎資料11-2に記載してください。